(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 27 日

長野県知事 阿部 守一 様

提出者

住 所 上田市真田町長7178番地1

上田市上下水道局 氏 名 上記代表者 上田市長 土屋 陽一

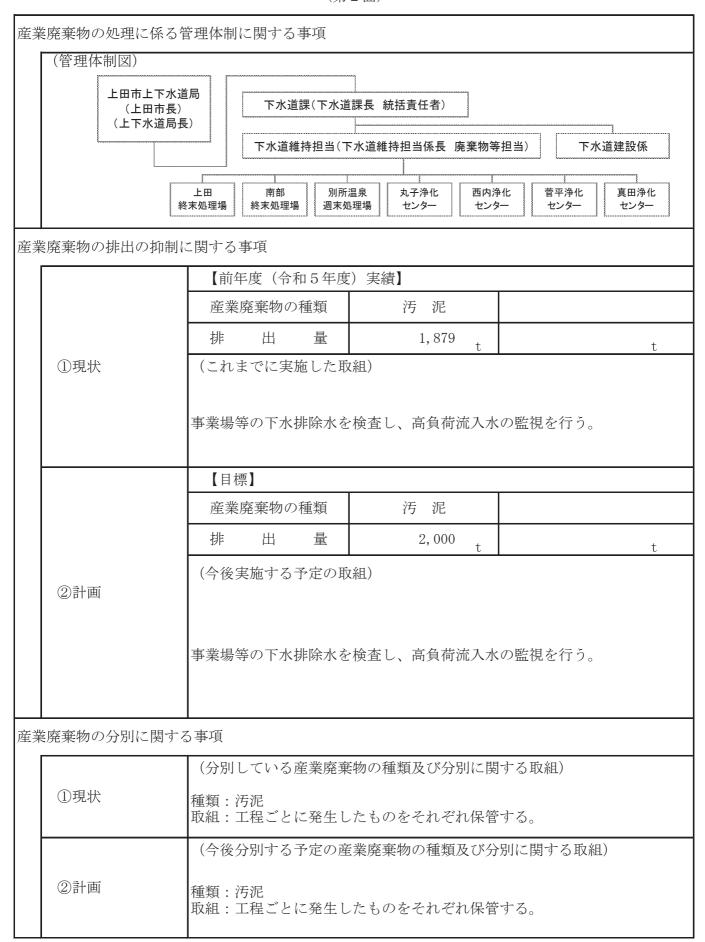
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0268-24-5855

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場	の名	称	別所温泉終末処理場
事業	€場σ)所在	三地	長野県上田市別所温泉9番地1
計	画	期	間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

á該 -	事業場において現に行	fっている事業に関する事項 								
	①事業の種類	水道業 下水道業 3631								
	②事業の規模	利用人口 1,088人、処理水量 285,551 m³/年								
	③従業員数	0人								
	④産業廃棄物の一連 の処理の工程	事業所内								



自ら	行う産業廃棄物の再生	上利用に関する事項										
		【前年度(年	度)実績】									
		産業廃棄物の種類										
	①現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量		t	t							
		(これまでに実施した取	組)									
		T										
		産業廃棄物の種類 自ら再生利用を行う										
		産業廃棄物の量		t	t							
	②計画	(今後実施する予定の取	組)									
自ら	う行う産業廃棄物の中間	引処理に関する事項										
		【前年度(令和5年度)実績】										
		産業廃棄物の種類	汚 泥									
		自ら熱回収を行った産 業廃棄物の量		t	t							
	①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	1, 751	t	t							
		(これまでに実施した取	組)									
		脱水により廃棄物の減量化を行う。										
		【目標】										
		産業廃棄物の種類	汚 泥									
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		t	t							
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	1, 900	t	t							
		(今後実施する予定の取	組)	•								
		脱水により廃棄物の減量	化を行う。									

自ら	行う産業廃棄物の埋立	立処分又は海洋投入処分に	関する事項	
		【前年度(年度)	実績】	
		産業廃棄物の種類		
	①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
		(これまでに実施した取	組)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類		
	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の取	組)	
産業	を廃棄物の処理の委託 は	こ関する事項		
		【前年度(令和5年度)実績】	
		産業廃棄物の種類	汚 泥	
		全処理委託量	128 t	t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への	128 t	t
	① 理 (4)	処理委託量	t	t
	①現状	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	+	+
		(これまでに実施した取	t 組)	t
		廃棄物の処理の委託にあ	たっては、コンポスト化による再	5生利用を進める。

(第5面)

		【目標】										
		産業廃棄物の種類	汚 泥									
		全処理委託量	10	0 t	t							
		優良認定処理業者への 処理委託量		t	t							
		再生利用業者への 処理委託量	10	0 t	t							
		認定熱回収業者への 処理委託量		t	t							
②計画		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への										
		処理委託量		t	t							
		(今後実施する予定の取 の 廃棄物の処理の委託にあ		ノポスト	化による再生利用を進める。							
※事務処理欄												

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請 完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ 事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

実績:前年度産業廃棄物排出量

令和 6 年度産業廃棄物処理計画書(産業廃棄物の実績及び計画の量) 単位∶t 計画: 当年度産業廃棄物排出量の目標値

7和 0 千反座:								型/ 単位:t													
		総排	出量	自ら再 <u>4</u> 行った(上利用を 行う) 量	自ら熱回収を行った(行う	<u> </u>	自ら中間処理量した(する	里により減 る) 量	自ら埋立 海洋投力 行った(\処分を	全処理	委託量	優良認定処3 への処理委言	里業者 托量	再生利用業 処理委託量		認定熱回収業 への処理委討		認定熱回収ぎ 熱回収を行う 処理委託量	
		自ら直接再生利用した 量等を含めた事業場に おける産業廃棄物の合 計量		自ら直接再生利用する 量と自ら中間処理を 行った後に再生利用す る量				中間処理前の量から中間処理後の量を引いた量		自ら直接埋立・海洋投 入処分する量と自ら中 間処理した後に自ら埋 立・海洋投入処分する 量		直接委託した量と自ら 中間処理した残さ量の		棄物の処理及び清掃に 関する法律施行令第6 条の11第2号に該当す		されている場合の委託 量(委託先から別の業		認定熱回収施設設置者 (廃棄物の処理及び清 掃に関する法律第15条 の3の3第1項の認定 を受けた者)		認定熱回収施設設置者 以外の熱回収を行って いる処理業者への焼却 処理委託量	
		1)		2+8		5		7		3+9		10		(1)		(12)		13		<u>(14)</u>	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画
	1 燃え殻																				
	2 汚泥	1,879.00	2,000.00					1,751.00	1, 900. 00			128. 00	100.00			128.00	100.00				
法	3 廃油																				
律	4 廃酸																				
	5 廃アルカリ																				
	6 廃プラスチック類																				
	1 紙くず																				
	2 木くず																				
	3 繊維くず																				
	4 動植物性残さ																				
	5 ゴムくず																				
	6 金属くず																				
政	7 ガラスくず・コンク リートくず及び陶磁器く ず																				
令	8 鉱さい																				
	9 がれき類																				
	10 家畜ふん尿																				
	11 家畜の死体																				
	T2																				
	13 ばいじん																				
	14 処分するために処 理したもの																				
	A =1	1 050 00	0.000.00	2.22	2.22	0.00	2.22	1 751 00	1 000 00	2 22	2.22	100.00	100.00	2 22	2.00	100.00	100.00	0.00	2.22	2.22	0.00
	合 計	1,879.00	2,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1, 751. 00	1, 900. 00	0.00	0.00	128.00	100.00	0.00	0.00	128.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※ 総排出量=自ら再生利用を行った(行う)量+自ら中間処理により減量した(する)量+自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)量+全処理委託量

【記載方法】

- ・各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の左に前年度の実績(現状)を右に本年度の目標(計画)の産業廃棄物の量を記載してください。
- ・「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入し、右欄にそれぞれの内訳を記載してください。
- ・「自ら再生利用を行った(行う)量」の欄は、自ら直接再生利用した量と自ら中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- ・「自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)量」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分をした量を記載してください。